

園長	主任	担任

事例2 1・2歳児
〇〇組 ①・2歳児

平成〇〇年度 年間指導計画

年間目標		<ul style="list-style-type: none"> 安心出来る保育者と関係を築きながら生活や遊びをする ・心地よく体を動かして遊び、関わりながら言葉を獲得する 探索活動を通して聞く、見る、触れるなど人々や周りのものへの関心を持ち関わって遊ぶ 			
子どもの姿		<p>一年間の発達を見通した子どもの姿と育てたいことを想定してかく</p>			
期		I期(4月～6月)	II期(月～ 月)	III期(月～ 月)	IV期(月～ 月)
ねらい		<p>子どもの姿をふまえて、<u>育ちつつあるものや育てたいことを「ねらい」とする</u></p>			
養護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> 行動範囲が広がり探索意欲が盛ん・好き、嫌い、抵抗するなど感情表現が豊かになる。周囲のものを試したり、2, 3人で遊ぶ姿も見られる。 			
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れる 周囲の人や物に関心を示し自分の意思や欲求を身振りなどで伝えようとする はう、立つ伝い歩きなど一人遊びや探索活動を楽しむ 			
教育	健康	<p>保育者との愛着関係を深める</p>			
	人間関係	<p>応答的なやりとりの中で自分の思いを保育者に伝えようとする</p>			
	環境	<p>個々の生活リズムを大切に新しい環境になれる</p>			
	言葉	<p>保育者と一緒にわらべうた遊びを楽しむ</p>			
	表現	<p>引っ張る、落とす、入れるなど指を使った遊びを楽しむ</p> <p>自分の要求を言葉やしぐさで表し受け止めてもらう</p> <p>絵本を読んでもらい、真似したり、繰り返したりして楽しむ</p>			
食育		<p>手づかみや、スプーンを使って自ら食べようとする様々な食材を試し、好きな物や嫌いな物を示す。</p>			
環境構成		<p>園庭ブランコ・ジャンピング・階段・砂場・ポタンはめ、お手だま、布、オルゴール</p>			
保育士の援助と配慮		<p>自分の遊びが生まれ、大きく多様な動きを引き出せるようにする。室内は、見立てやごっこ、手先を動かす素材を用意する</p>			
健康及び安全		<p>朝の視診、平熱の把握、感染症の把握食事の対応</p>			
保護者に対する支援		<p>新入園の保護者には日々の子の様子を細かに伝え連携する。6月保育面談</p>			
【例】保育のふりかえり		<p>個人差に配慮し担当することで、愛着、信頼が生まれている。戸外で遊ぶことを喜び、全体リトミックでは機嫌が盛んになってきた。絵本も家庭と連携にしながら楽しめるようにしたい。Rの「お手伝い」エピソードをクラス便りで発信した。</p>			
				※実際の様式:A3	

<p>子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初めての雰囲気になじんだり、不安がって抱っこや触れ合いを求めたり、食事が進まなかったりなどの様子がみられる。 ○月齢や家庭環境、これまでの体験により、育ちの姿に個人差の幅が比較的大きく見られる。 ○少しずつ新しい環境に慣れ、安心した様子であそんだり、食べたり、眠ったりする姿が見られる。 ○担任保育者に親しみを見せる姿が見られる。 	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が、自分のスペースで新しい環境に慣れ、保育者とゆったりかかわり、遊びながら安心して過ごす ねらいは到達目標ではなく方向目標 <p>健康・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭の様子を、しっかりと聞きながら、一人一人の心身の発達・発達、体質等を把握し、適切な対応をししていく。 ○保育室や玩具を常に清潔にし、子どもの目の高さで安全確認をする。 	<p>家庭連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭での状況(授乳、食事)等を伝えてもらい、で安心して過ごせる。 ○保護者の不安や悩みを知らせ、信頼関係を構築していく。 ○一人ひとりの子どもの発達・発達、家庭環境を、一人一人の保育者が把握することを目標、常に話し合いをしながら共通理解を図る。 ○機嫌、授乳、睡眠の様子など、日々の生活の中での細かな変化を伝え合い、その日の状態に合わせて保育ができるようにする。 <p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日(金)対面式(園式)、進級式 8日(金)交通安全指導 14日(木)こいのぼり掲揚式、お弁当会 15日(金)おたのしみ会 23日(土)クラス懇談会 26日(火)避難訓練 <p>うた</p> <ul style="list-style-type: none"> 一本橋こちよこちよ 手をたたきまじよ ちよちよあわわ お花がわらった むすんでひらいて わらべうた <p>絵本</p> <ul style="list-style-type: none"> いないいないばあ (おたのしみよの赤ちゃん絵本) なみいなあひあひ 等
--	---	---

あそび・環境と予想される子どもの姿及び保育者の援助・配慮

1歳児以上は、3つの視点を5領域に置き換え、この様式のまま記載・活用することもできます。

身近な人と気持ちが通い合う

身近なものとの関わり感性が育つ

座って遊ぶ

- おでま
- ガラガラ
- 型はめ

おもちや棚

外気に触れる

(園内散歩、ベランダ、園庭等)

- 保育者と散歩しながら、心地よい風や陽の光にふれたり、植物・昆虫・小動物等と出会ったりして、保育室以外の周りの様子の様子に興味を示す。
- 事前に一人一人の体調を把握し、声をかけたり、手をつないだり、抱っこしたりして、一人一人が安心した中で、周りの興味を広げようとする。
- 発見したことを指差しや表情・身体で表していることに応答的に対応し、気持ちを受け止める。

ふれあいあそび

- ボール
- 大きな布
- (いないいないばあ)
- (布ブランコ)
- こたぎ台
- (はう、つたう、歩く等、運動遊び)

健やかに伸び伸びと育つ

食事スペース

配膳

棚

受け入れスペース

身体を使ってあそぶ

ハイハイ、つかまり立ち、つたい歩き、歩く、押す、引っ張る等)

○部屋中、散策あそびを繰り返す中で、棚やロッカーにつかまって立ったりつたい歩きをする。日々、ハイハイ、立つ、歩くこと等を経験する。

○興味ある玩具等を、引っ張る取ったり、押したり、叩いたりして指・手・脚・全身を使ってあそぶ。

●子どものあそび姿を観ながら、広いスペースの確保、使用していない遊具の整理等を繰り返し、安全な環境をつくりながら、十分に伸び伸びと身体を動かせるようにする。

音の出るおもちゃや動くおもちゃや手作りの遊具

(サイコロ構み木、ガラガラ、クレヨン、チャイム、ボール、車)

- 保育者や他者がやっている様子を見たり、真似てやってみようとする。
- 指先を使い、押したり、つまんだり、たたいたりする中で、音が出たり、動いたりする様子を興味。
- 子どもたちと一緒に動いたり、動かしてみたり、音を出してみたりしながら、楽しい雰囲気を作り、あそびに誘っていく。
- なめたり、噛んだりすることを想定し、思い切りあそび込めるよう、常に玩具の衛生面、安全面への具体的な配慮を怠らないようにする。

窓にセロファンで光を通す装飾

<p>反省・課題</p> <p><保育実践を振り返る視点></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 準備として、物や場所がねらいに沿ったものであったか ② 子どもの興味関心の表れをとらえているか ③ 興味関心に応じた保育者の判断や関わり方 <p>子どもの主体的な活動の中心である遊びは、計画を超えて現れることも多く、それについても適切なかかわりがなされたかふりかえります。</p>	<p>第2週</p> <p><子どもの育ちをとらえる視点></p> <p>子どもの育ちの方向性は今月設定したねらいや内容に即して捉えています。子どもが計画どおり出来るようになったかどうかではなく、短期的な育ちの方向性と、育みたい資質・能力という長期的な見通しを持った育ちの方向性との2つの視点を合わせて、個人差・家庭状況などを考慮しながら週ごとの子どもの育ちをふりかえります。</p>	<p>第3週</p> <p><チームワークの視点></p> <p>複数の保育士が担当している中で、計画と記録をとる保育士は異なる場合が多くなります。それぞれ保育者の観察に基いた記録は、お互いの記録を突き合わせ、毎週の反省・課題を通して、共通認識を持つことが出来る様になります。これを次月の計画に生かし、計画の改善につなげていきます。</p>
<p>第4週</p>		

①・1・2歳児 個別の指導計画 4月

園長印	主任印	担任印

氏名 A 児 (歳 9ヶ月)

	月の始めの子どもの姿(予想される育ち)	月末の子どもの姿(育ちの記録)
健康・生活(食事・排泄・着脱)	①	④
あそび(言葉・情緒)	②	⑤
今月の配慮・援助	③	⑥
省察	⑦	

「予想される→月初めの子どもの姿(①~③)」は前月末に記入し(4月の場合は、前年度に保護者面接をした内容を基に記入)、「今月→月末の子どもの姿(④~⑥)」「省察(⑦)」を月末に記入する。月末の子どもの姿は翌月の予想される姿に反映される。それを繰り返す事で保育の連続性を意識していく。

月案でたてた計画が、実行された様子を日誌に記入し、それらをまとめた子どもの姿を個人記録として記載していく。

「身近な人と気持ちが通じ合う」「健やかに伸び伸びと育つ」「身近なものに関わり感性が育つ」の3つの柱の観点から、心情・意欲・態度の育ちを意識し、その子の①今の姿②ここまでの発達過程③育ちつつあるものを記録する

先月までの子どもの姿をしっかり捉えながら、3つの視点、5領域、環境構成も視野に入れ、その子の発達に見合った配慮・援助を記載する。

担当保育者、チーム保育の在り方、環境の考え方、実践内容が、この月において、その子の発達に見合ったものになっていたか、翌月に向けて改善すべきことは何かを考察し記載する。

☆… 実際の子どもの姿 ●… 予想される子どもの姿

事例5

※3歳になった時点で、若しくは、その子の育ちに即して、個人計画を集団の計画のみに移行していくこともある。

個別の指導計画

2歳児クラス(満3歳)

氏名 _____ 年 月 日生

平成 〇年 7月		月年齢 3歳 2か月	園長	主任	担任	子どもの活動記録	健康状態(食欲含む)
子どもの姿	友だちとプール遊びやごっこ遊びを楽しむ姿がある。	家庭との連携 ・梅雨が明け、本格的な暑さが始まる。着脱しやすい衣服を複数枚用意してもらう。					
	少し食欲が落ちてきている。						
ねらい	・保育者や友だちと一緒に夏の遊びを充分に楽しむ。 ・おなかのすいたタイミングで食事をする。						
〇養護(生活) 〇教育(あそび) 〇健康 〇安全 〇食育	保育内容	援助と配慮・環境構成					
	尿意や便意を知らせ、トイレで排泄しようとする。	・排尿間隔を把握してトイレに誘い、便器での排尿経験を重ねていけるようにする。					
	自分の思いを言葉で伝えようとしながら、友達と一緒に遊んだりする。	・保育者も一緒に遊ぶ中で、子どもの経験から発した言葉や仕草をしっかりとらえ、丁寧に応じて関わっていく。また、友達と遊ぶことが楽しいと思えるように遊びの気分をつなぐ。					
	トイレは、こまめに行くものぬれていることが多い。まだ、ためられないうような気もする。チェック表を今後付けてみようと思う。						
	じょうろでのんびりと遊ぶのは好きで、長い時間集中して遊んでいた。友達と同じイメージを持ちながら「〇〇ちゃんおいでよ」と呼び、遊んでいた。						
反省・評価							
備考							

《書き方のポイント》
 〇個人差があることが前提として捉える
 一人一人の子どもが2歳から3歳になる1年である。様々な面でぐんと育っていると感じられる時期であり、かつ、その育ちの姿は個人差が大きいということに、最も意識を向けることが大切である。
 〇現実と理想のギャップへの対応
 この時期は、どの子どもにも「自分の意思を持ち、食事や排泄、着替えなど身の回りのことを自分からやろうとする」半面、「自分の思い通りにいかないときに癩癩を起したり甘えたりする」といった姿と同時に「友だちへの関心」が現れてくるが、その際、大人に受け止められて立ち直る経験が肝要であり、その経験の積み重ねが、自らの子どもと関わりとする心情・意欲の基となる。
 〇2歳から3歳へのつなぎを大切にすること
 保育者には、一人一人の子どもが主体的に「幼児期」の充実した生活を過ごせるよう、小学校入学直前の「連携・接続」と同様、丁寧に育ちを紡ぐことが求められる。

事例6

保育日誌

【記入例】

0歳児

平成 〇〇年 4月 〇日 〇曜日		天気	晴・曇・雨	所長印	担任印
出席状況	在籍数	欠席児童名(理由)			
	出席数	15	2	家庭への連絡	
児童名		A児(HO. O. O生)			
視診	良好	良好		良好	
個別検査	異常なし	登園時/午睡前/おやつ後等のタイミングで測			
検温	36.8 / 37.1 / 36.9				
食事	初期・中期・後期・完了・幼児 全量・残あり・おかわり イスに座るごぼ嫌がるが保育者の膝の上だと安心して食べる。11:50(ミルク150cc)16:00(80cc)	初期・中期・後期・完了・幼児 全量・残あり・おかわり		初期・中期・後期・完了・幼児 全量・残あり・おかわり	
排泄	・おむつ替えの歳、保育者とアイコンタクトをし、機嫌良く着替えてもらう。 ・午睡明けに軟便有り。おむつかぶれはなし。	離乳食の状況も記載 保護者と進め方を相談			
午睡		SIDSチェック表は専用の様式にて記録、その他の睡眠の様子を記録			
子どもの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・A保育士に抱かれると安心して過ごすことができるようになった。しっかり顔を確認し、別の保育士が対応すると人見知りをし、A保育士を探す。 ・歌が好きなので、保育士が抱きながら「ちようちよ」を歌い窓にかかるちようちよのモービルを揺らすと、自分も手を伸ばして触ろうとする。 				
保育に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の保育者に懐き、後追いする子もいるので、対応保育者を固定して安心して安心する信頼関係をつくることを優先する。 ・個々の健康状態や気づきはその都度、担任同士声を掛け合い共有していった。 				
特記事項					

事例7

【記入例】

保育日誌

①・2 歳児

平成〇〇年4月〇日		〇曜日	天気	晴・曇・雨	所長印	担任印
出席状況	出席数 15	欠席数 2	欠席児童名(理由)		家庭への連絡	明日のお弁当会の確認
児童名	A児 (H29.3.29生)		F児(家庭保育) E児(胃腸炎)	C児 (H29.3.16生)	D児 (H29.3.14生)	E児 (H29.3.7生)
視診	良好 おでこに虫刺されの痕があるが、痒がる様子無し	良好 鼻水あり(黄色い鼻水) 10時頃から不機嫌にな	良好 鼻水あり(黄色い鼻水) 10時頃から不機嫌にな	良好 鼻水あり(透明)	良好	良好
個別検査	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
検温	36.9 / 36.9 / 36.6	37.0 / 37.3 / 38.1	36.5 / 36.6 / 36.6	36.5 / 36.6 / 36.6	36.3 / 36.2 / 36.4	36.4 / 36.4 / 36.4
食事	野菜類を嫌がるが、ごはんに混ぜると食べてくれる。途中からあきてしまい、1/3程残す。	介助をうけなからだが、ほとんど食べている。苦手なトマトは口にいれれども吐き出してしま	全量・(残りあり) おかわり	全量・(残りあり) おかわり	全量・(残りあり) おかわり	全量・(残りあり) おかわり
排泄	紙おむつ使用 尿の量が多い	紙おむつ使用 尿の量が多い	紙おむつ使用 尿の量が多い	紙おむつ使用 尿の量が多い	紙おむつ使用 尿の量が多い	紙おむつ使用 尿の量が多い
午睡	12:10~14:05	11:50~14:40	12:10~14:45	12:10~14:45	10:10~10:40 12:40~14:45	
子どもの様子	鼻水が出ている友だちを見せ、「ティッシュを持って」とお願いすると、理解してたどたどしい歩行ながら、ティッシュを取りにいき、保育士に渡して満足そうに笑う。出来たことを一緒に喜び、本児のやる気を大いに認めていく。	登所時は機嫌もよかったが、徐々に不機嫌になり体調の悪さが伺える。普段は好きなお遊戯も、お気に入り以外の曲以外は怒って座り込む姿も見られた。リクエストに応えると踊ります。	絵本を読んでいると、周りの友達と顔を合わせて笑う。最後にちようちよが登場すると「ハイハイ」と手を振っていた。情緒の育ちを感じた。前中は遊戯曲を流しても、ここに見ているだけだったのが、午後は踊ってくれた。	読み明けて体調がまだ順調ではない様子。一日甘えて抱っこで過ごす。気がまざれると離れて活動するが、欠々に午前寝もあり、体力が戻っていないのを感じる。小まめな検温を行いゆったり過ごす。	休み明けで体調がまだ順調ではない様子。一日甘えて抱っこで過ごす。気がまざれると離れて活動するが、欠々に午前寝もあり、体力が戻っていないのを感じる。小まめな検温を行いゆったり過ごす。	欠席の欄は斜線を引く。
保育に対する自己評価	体調を崩している子や病気明けの子もいるので、個々の体調に気をつけながら過ごす。体調不良からくる機嫌の悪さは、個々の気持ちを代弁しながらゆったりとした気持ちで受け止めていった。夏祭りのお遊戯は子供たちが好きな曲を選曲していい。					
特記事項	B児…徐々に体温が上がり、午睡明けには38.0度を超えた為家庭連絡(母)する。水分を多めにとらせ、側につきながら休ませる。母が16時にお迎え。					

2. 満3歳以上児(幼児教育の指導計画)

新しい幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針では、3歳以上の教育に関わる側面のねらい及び内容に関して、更なる整合性が図られた。幼児教育において、育みたい資質・能力がどの幼児教育の施設でも育つように共有され、同じ方向性が示されている。

幼児期の保育は、子ども一人一人が、安定した自己を基盤として、取り巻く環境(人・もの・こと)に自発的に関わって展開される生活である。

入園や進級等によって保育室や担任、クラスの編成等新たな環境の中で、子どもが自己の力を発揮しながら取り巻く環境に自主的に関わるには、情緒の安定を図る配慮が必要である。「個の安定」においてはどの時期の保育にあっても基盤となるものである。

3歳～5歳の指導計画の編成では、子どもの発達に即した計画と実践になるよう、幼児教育の基本を抑え、子どもの発達や保育を捉える視点を、「個の安定と自立」「環境(人・もの・こと)との関わり」の視点から捉えた指導計画を事例とした。

<幼児教育の基本>

(1) 幼児期にふさわしい生活

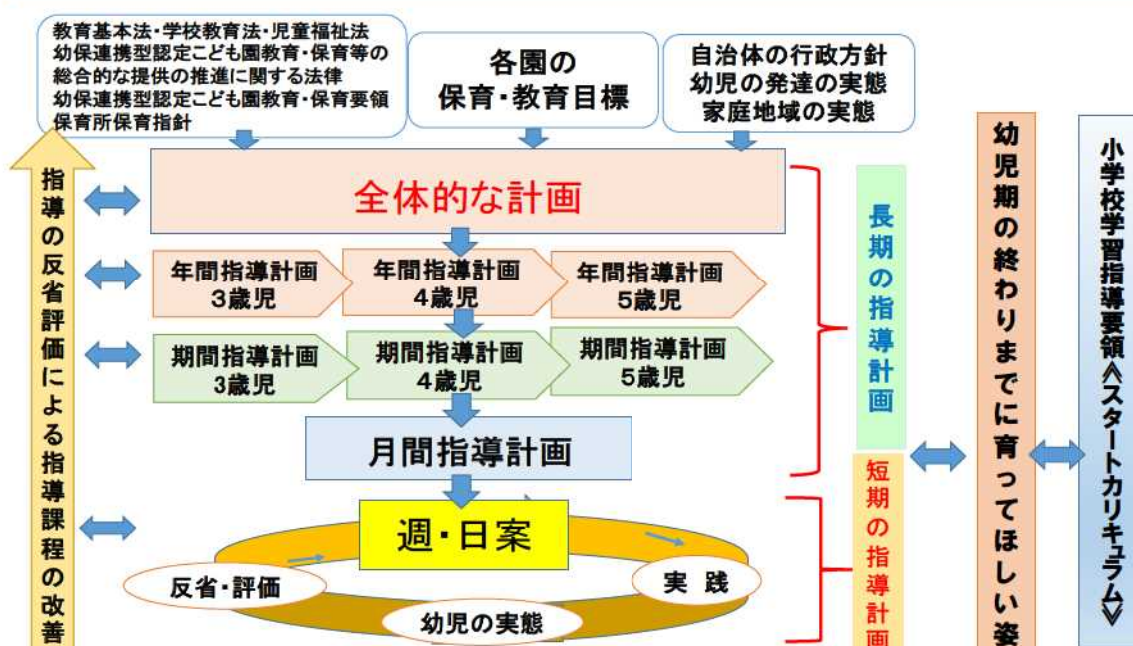
保育者との信頼関係に支えられた生活・興味関心に基づいた直接的な体験が得られる生活
友達と十分関わって展開する生活

(2) 環境を通しての保育

遊びを通しての総合的な指導・興味・関心のある主体的な遊び環境の構成と援助

(3) 一人一人の発達に応じた保育

個々の発達・個人差に応じた対応



<指導計画のとらえ>

(1)長期の指導計画(年間・期別・月間)

長期の指導計画は、昨年までの保育に関する積み重ねた自園のデータ(全体的な計画)を基に、入園から卒園までにどのような保育の過程をたどると保育・教育目標が達成できるか示した計画である。長期計画は卒園までの子どもの育ちに見通しを持つために重要な計画である。

事例1(p34)では、子どもの生活の区切りを中心に各年齢をⅤ期に分けて記してある。例えば、4月～6月中旬前後までを「新しい生活に慣れることを中心とした生活」、6月中旬～9月中旬までを「生活に慣れて自分を出して遊びを展開する生活」、9月上旬～11月中旬を「遊びの広がり」、11月上旬～1月下旬を「遊びの深まり」、1月中旬～3月「各学年目標の充実に向けた生活」で示してある。各区切りには、期待する子どもの育ちをキャッチフレーズで示し、これは、「環境構成・援助」の方向を捉える視点ともなる。

事例2～4「期の区分表」(p35～37)では、それぞれの年齢の生活の区切りに合わせて「ねらい・内容」を示し、さらに事例5～7「期間指導計画」(p38～43)では、昨年までのデータを基に、期ごとに「子ども姿・ねらい・内容・環境構成と援助のポイント」を示してある。

事例8～10(p44～49)は各月ごとの指導計画を具体的に示したものである。

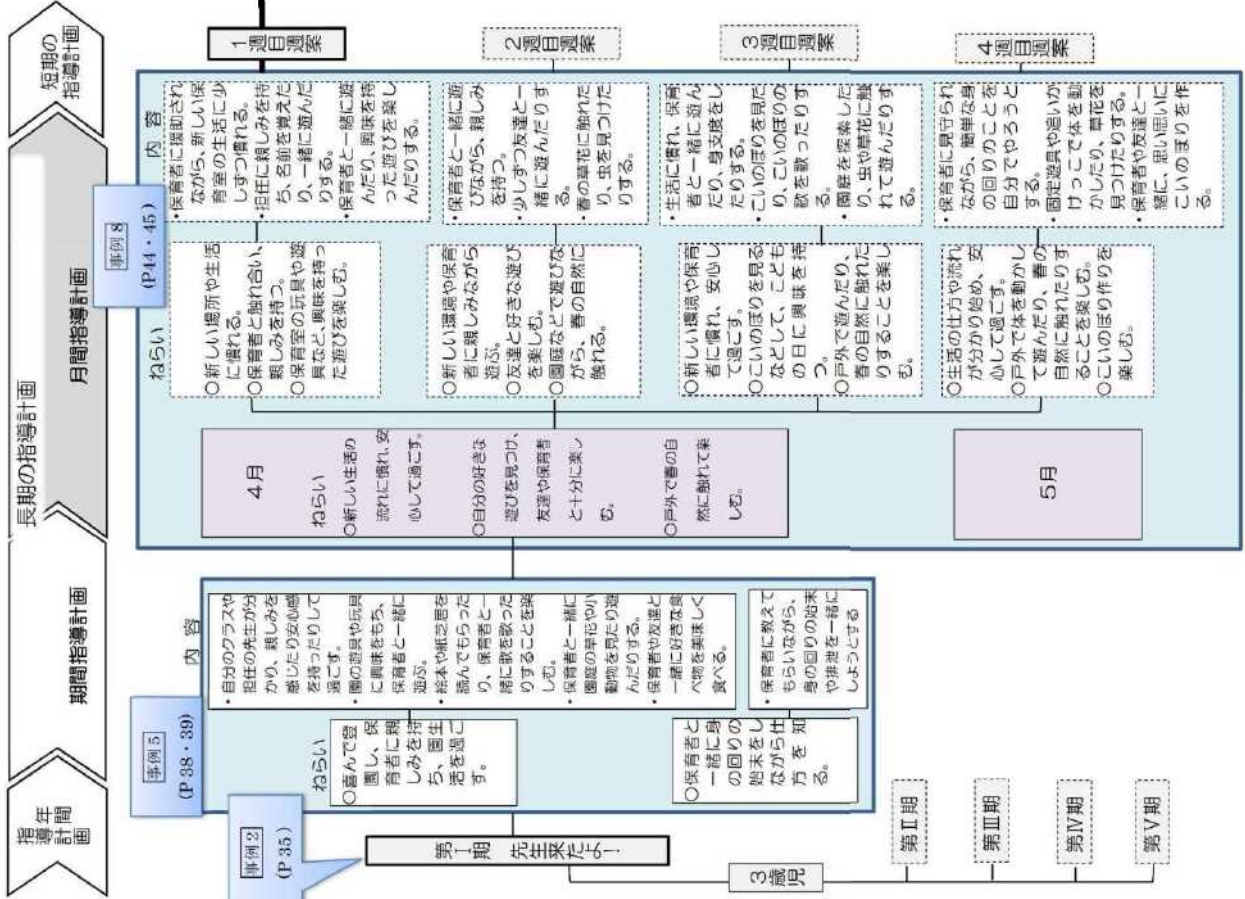
(2)短期の指導計画(週・日案)

週・日案では、先週までの子どもの姿を5領域のねらい・内容等を視点に、幼児の姿を出し、子どもの興味・関心の方向や育ちを捉え、長期の指導計画で示された子どもの姿と比較しながら、今どの段階の育ちにいるのかを把握しなければならない。そのことを通して、これまでの保育や環境構成、援助の方向等、発達に必要な環境が十分であったか評価・反省をするとともに、あらかじめ設定した「ねらい・内容」を修正したり、それに向けて環境を再構成したり、必要な援助をしたりという柔軟な実態に即した計画にすることが大切である。

事例11～13「週・日案」(p50～55)は、週当たりの計画について日の計画を具体的に示したものである。3歳児・4歳児はⅠ期の4月第1週、5歳児はⅤ期の1月第3週を事例とした。

【指導計画作成のイメージ図】

(例) 3歳児 第1期 「新しい生活に慣れることを中心とした生活」



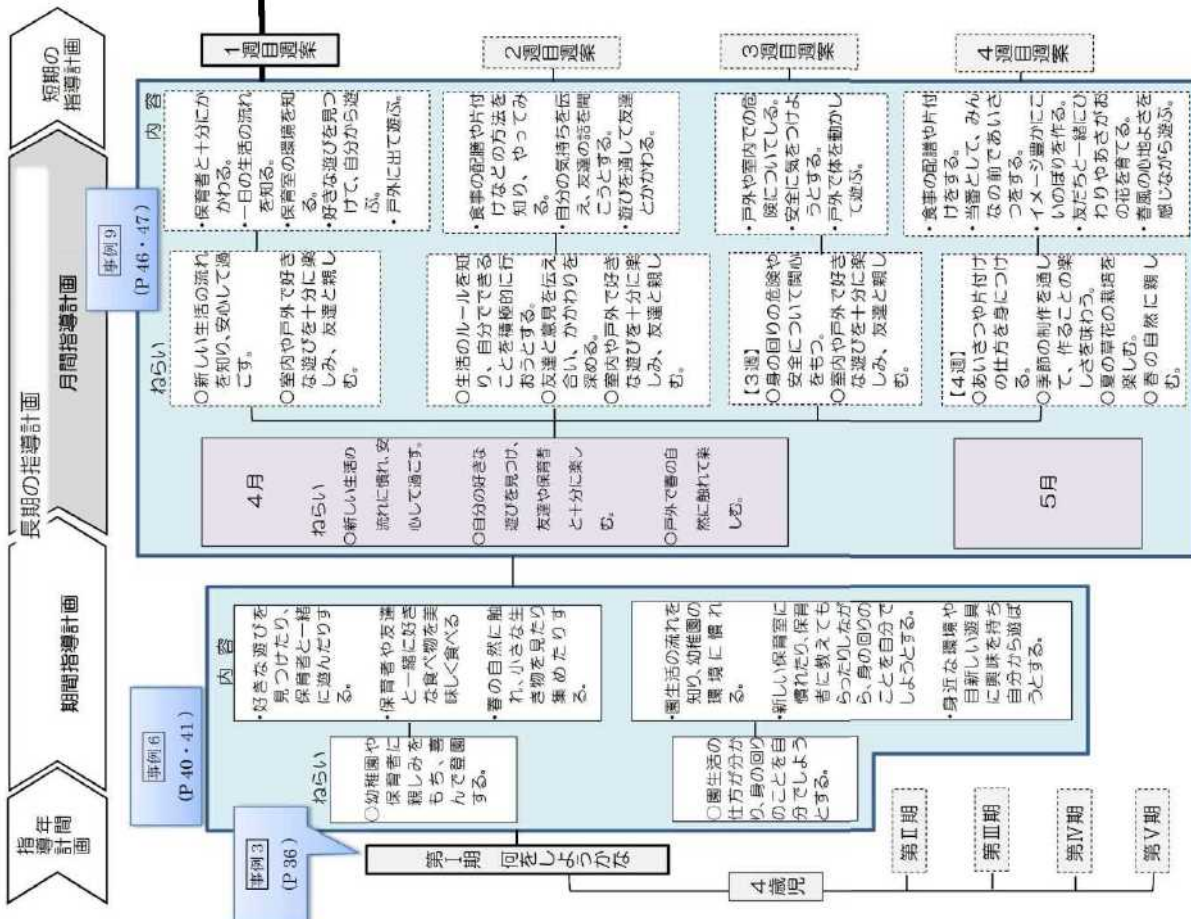
短期の指導計画 週日案 (750・51)

3歳児 週・日案 第1週 4月1日～4月7日 00市立00こども園

日	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)
基本生活指導	・保育者や友達と挨拶を交わす ・園の生活の仕方 ・トイレの使い方	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する
生活指導	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する
検査	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する
食事・生活	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する	・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する ・園外での安全確認 ・園外での危険な場所(車のタイヤの隙間など)を認識する

【指導計画作成のイメージ】

(例) 4歳児 第1期 「新しい生活に慣れることを中心とした生活」



4歳児 週・日案 第1週 4月1日～4月7日 〇〇市立〇〇園

短期の指導計画

週・日案 (P.52・53)

園長	教頭	担任	担任	担任	担任

子ども達

ねらい

- 〇園や保育者に慣れ親しむ機会をもち、楽しんで楽しむ。
- 〇保育者と触れ合いながら生活の仕方や役割の役割を自ら見つけよう。
- 〇好きな遊びを見つけて自分なりに楽しもう。
- 〇好きな遊びや仲間と遊ぶ。

内容

- 〇保育者に慣れ親しむ機会をもち、楽しんで楽しむ。
- 〇保育者と触れ合いながら生活の仕方や役割の役割を自ら見つけよう。
- 〇好きな遊びを見つけて自分なりに楽しもう。
- 〇好きな遊びや仲間と遊ぶ。

子どもの姿

- ねらい**
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
- ねらい**
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

子どもの姿

- ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

子どもの姿

- ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

予想される子どもの姿

- ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

保育者の援助

- ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

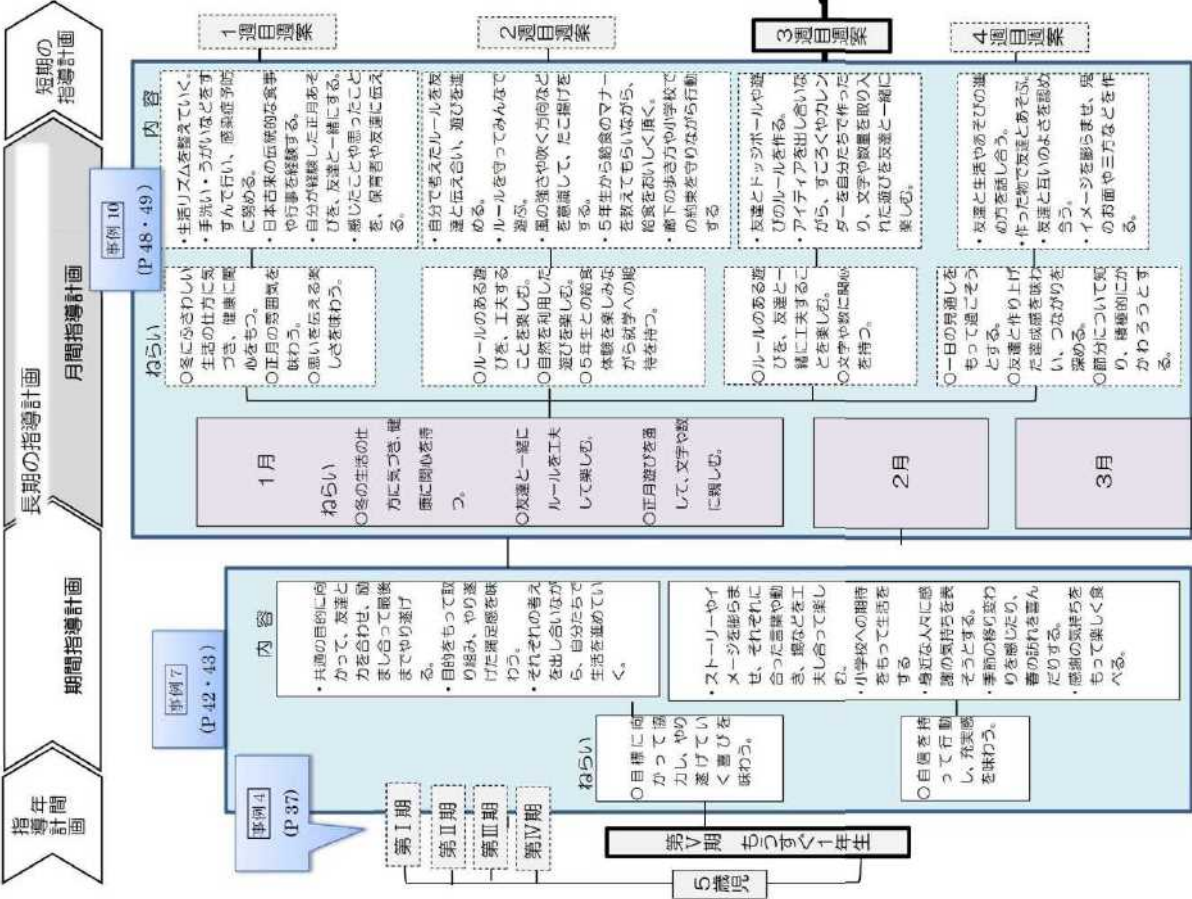
環境構成

- ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...
 - ・今日の子ども達の姿(両方)から、この時...

日	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)
行事	・人園式・運動式				・始業式	・避難訓練
くさき	・園庭整備(あそび場)					
給食	・園庭整備(あそび場)					
保育・生活	・安全訓練	・園庭整備(あそび場)				・避難訓練

【指導計画作成のイメージ】

(例) 5歳児 第V期「各学年目標の充実に向けた生活」



短期の指導計画
週・日案
[期間] (P.54・55)

5歳児 週日案 第37週 1月22日～1月27日 00市立00こども園

日	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)
行事						
主な活動						
給食						
保育・生活						
月～金の流れ	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育	8:15 登園 朝の会 8:30 戸外遊び 10:00 戸外遊び・着替え 10:30 クラフト活動 12:00 昼食 13:30 朝の会 14:00 2時間活動 15:15 おやつ 16:00 戸外遊び 17:00 入園 18:30 延長保育

【事例1】 期の区分表

月	旬		3歳児	4歳児	5歳児
4	上	新しい生活に慣れることを中心とした生活	Ⅰ期 先生きたよ！ ～親しみを感じて～	Ⅰ期 何をしようかな？ ～落ち着く場を求めて～	Ⅰ期 いよいよ年長だ！ ～喜びを感じて～
	中				
	下				
5	上	生活に慣れて自分を出して遊びを展開する生活	Ⅱ期 先生が大好き！ ～好きな遊びを思い思いに～	Ⅱ期 こうしてみよう ～試したり工夫したり～	Ⅱ期 友達とイメージを伝えて ～伝えたり受け入れたりして～
	中				
	下				
6	上	遊びの広がり	Ⅲ期 楽しいな ～いろいろな場で～	Ⅲ期 一緒にやろう！ ～自分から関わって～	Ⅲ期 共通の目的をもって ～力を出したり工夫したり～
	中				
	下				
7	上	遊びの深まり	Ⅳ期 あれもこれもやってみよう！ ～自分らしさを出して～	Ⅳ期 友達と一緒に ～伝えたり聞いたりして～	Ⅳ期 共通の目的に向かって ～相談したり工夫したりして～
	中				
	下				
8	上	各年齢の目標の充実に向けた生活	Ⅴ期 自分でできたよ ～のびのびと～	Ⅴ期 気の合う友達と一緒に ～思いや考えを出し合いながら～	Ⅴ期 もうすぐ1年生 ～自信をもって～
	中				
	下				
9	上				
	中				
	下				
10	上				
	中				
	下				
11	上				
	中				
	下				
12	上				
	中				
	下				
1	上				
	中				
	下				
2	上				
	中				
	下				
3	上				
	中				
	下				

【配慮事項】

新入園児については、どの年齢においても、Ⅰ期及びⅡ期までは入園当初の情緒を考慮し、「園ってどんなところ？」という視点から捉え、Ⅲ期頃には育ちが重なるように発達の過程を見通す。

事例2 3歳児 年間指導計画

期	I	II	III	IV	V
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○喜んで登園し、保育者に親しみを持ち、園生活を過ごす。 ○保育者と一緒に身の回りの始末をしながら仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者の近くで安心して思い思いに遊ぶ。 ○身の回りのことや片付けなどを保育者と一緒にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と触れ合いながら好きな遊びを楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを喜ぶ。 ○保育者に見守られながら身の回りのことを自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達に自分の思いを出して遊ぶ楽しさを感じる。 ○身の回りのことや片付けなど自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを出して友達や保育者と一緒に好きな遊び十分に楽しむ。 ○大きくなった喜びを感じながら、生活をする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のクラスや担任の先生が分かり、親しみを感じたり安心感を持ったりして過ごす。 ○保育者に教えてもらいながら、身の回りの始末や排泄を一緒にしようとする。 ○園の遊具や玩具に興味をもち、保育者と一緒に遊ぶ。 ○絵本や紙芝居を読んでもらったり、保育者と一緒に歌を歌ったりすることを楽しむ。 ○保育者と一緒に園庭の草花や小動物を見たり遊んだりする。 ○保育者や友達と一緒に好きな食べ物を美味しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者を身近に感じながら、好きな遊具や場で遊ぶ。 ○してほしいことや困ったことなど、自分なりに保育者に伝えようとする。 ○身近な遊具や素材に触れ、自分なりに遊ぼうとする。 ○砂や土、水などの感触を楽しんだり開放感を味わったりする。 ○保育者と一緒に身近な動植物になったりリズム遊び等をしたりすることを楽しむ。 ○持ち物の始末や衣服の着脱、排泄などを保育者と一緒にしたり自分でしようとする。 ○使った遊具などを保育者と一緒に片付けようとする。 ○保育者や友達と一緒に喜んで食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな遊びに興味をもち、保育者や友達と一緒に楽しむ。 ○同じ場にいる友達と関わって遊ぼうとする。 ○保育者に自分の思ったことを話そうとする。 ○遊具や場の取り合いなどを経験する中で相手にも思いがあることに気づく。 ○保育者や友達と一緒に走ったり、固定遊具で遊んだりして体を動かす。 ○身近な素材に触れ道具の使い方を知り、描く・作る・音を出すなどして楽しむ。 ○衣服の着脱や靴の始末、片付け、排泄など保育者に見守られながら自分でしようとする。 ○給食に興味をもち、嫌いな物も食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達に自分の思いや感じたことを言葉や行動に出す。 ○興味あることに浸って遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に役にあったり簡単な言葉のやりとりや動きをしたりして楽しむ。 ○簡単なルールのある遊びの面白さを知り興味をもって遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に進んで戸外に出て遊ぶ。 ○いろいろな素材で、作ったり描いたりして遊ぶ。 ○衣服の着脱や片付け、排泄を自分でしようとする。 ○食事の前や遊び後の手洗い、うがいを自分でしようとする。 ○食べ物に興味をもち、友達と一緒に楽しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな友達に自分の思いを出しながら遊ぶ。 ○好きな場や好きな遊具でじっくり遊ぶ。 ○思い描いたものを作ったり自分なりに動きや言葉で表現したりして遊ぶ。 ○年中児や年長児と触れ合い、楽しさや憧れを抱いたりする。 ○自分でできることが増え、大きくなったことを感じ、進級することを楽しみにする。 ○身の回りの始末や片付けなどを自分でする。 ○できるだけ好き嫌いをなく楽しく食べようとする。

事例3 4歳児 年間指導計画

期	I	II	III	IV	V
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ○幼稚園や保育者に親しみを持ち、喜んで登園する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きな遊びを見つけ、保育者や友達に自分の思いを出しながら遊ぶ。 ○保育者や友達といろいろ素材にかかわり、自分なりに試したり工夫したりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分を出しながら友達と一緒に遊びを楽しむ。 ○友達と思いきり体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを伝えたり友達の思いを聞いたりしながら遊ぶことを楽しむ。 ○身近な自然にかかわり、自分から試したり、工夫したりしながら遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや考えを出し合いながら、気の合う友達と遊ぶ楽しさを味わう。 ○5歳児になる喜びを感じ、身近な人々に関心をもって行動する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○園生活の流れを知り、幼稚園の環境に慣れる。 ○新しい保育室に慣れたり、保育者に教えてもらったりしながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ○好きな遊びを見つけたり、保育者と一緒に遊んだりする。 ○身近な環境や目新しい遊具に興味を持ち自分から遊ぼうとする。 ○春の自然に触れ、小さな生き物を見たり集めたりする。 ○保育者や友達と一緒に好きな食べ物を美味しく食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と一緒に好きな遊びを見つけ安定して過ごし、遊びを楽しむ。 ○思ったことや感じたことを保育者や友達に伝えようとする。 ○小さな生き物にかかわって遊び、興味をもつ。 ○衣服の着脱や後始末の仕方などを知り自分でしようとする。 ○戸外で身体を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わう ○新しい遊具や素材の使い方に慣れ、安全に気を付けて遊ぶ。 ○してはいけないことが分かり、気を付けようとする。 ○保育者や友達と食事をする喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一緒に遊んでいる友達に自分の思いや考えを出し合いながら遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に体を動かしたりのびのびと表現したりして遊ぶ楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに進んで取り組み、簡単なルールを知ったり守ったりして遊ぶ自由さを知る。 ○感じたことや考えたことなどを言葉にして伝えようとする。 ○身近な素材や道具を選んだり使い方を考えたりして、自分なりに表現する。 ○絵本や紙芝居などに興味を持ち、ストーリーの展開を楽しむ。 ○自分の持ち物や、みんなで使う道具を大切に扱おうとする。 ○身近な秋の虫や草花、草の実などに興味をもって遊ぶ ○食事の配膳を静かに待ち、友達と一緒に楽しく食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉で自分の思いや考えを伝えたり友達の話を聞いたりしながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分の力を試すことができる遊びに興味を持ち、繰り返し取り組もうとする。 ○5歳児の刺激を受けたり友達と遊び方などを考えたりしながら遊ぶ満足感を味わう。 ○進んで戸外に出て遊び、体を動かす心地よさを味わう ○園庭で木の葉や木の実などの秋の自然に興味をもち十分にかかわって遊ぶ。 ○手洗いやうがい、衣服の調整など冬の生活習慣を身に付け自分でしようとする。 ○保育者や友達に自分たちの遊びの楽しさを知らせたり困ったことを話したりする。 ○自分なりのイメージを言葉や動きなどで表現して遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分たちで配膳や片付けなどをして楽しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを出したり、友だちの思いを受けいれたいして遊ぶ。 ○自分の力を試し、繰り返し取り組もうとする。 ○イメージを広げ、言葉や音、色や形などで表現する楽しさを味わう。 ○5歳児と一緒に活動しながら、進級への喜びや期待をもつ。 ○お世話になった5歳児や身近な人々に感謝の気持ちを、保育者と一緒に様々な方法で伝えようとする。 ○遊具や道具などを大切に使ったり進んで片付けたりしようとする。 ○春の草花や虫などに関心をもってかわらうとする。 ○気持ちよく食事をするためのマナーを身に付ける。

事例4 5歳児 年間指導計画

期	I	II	III	IV	V
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児になった喜びを感じ、園生活に取り組む。 ○気の合う友達と好きな遊びを楽しみ、充実感を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いや考えを出し合いながら、友達とイメージをもって遊ぶ。 ○目的をもち、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○身近な動植物や自然に関心をよせ親しみをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通の目的をもって友達と力を出し合って遊ぶ。 ○自然の変化に関心をもち、使って遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通の目的に向かって友達と遊びを進める楽しさを味わう。 ○自分の目標に向かって挑戦し、やり遂げようとする。 ○身近な自然に自分から関わり、不思議さや愛情を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的に向かって協力し、やり遂げていく喜びを味わう。 ○自信を持って行動し、充実感を味わう。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○5歳児になった喜びを感じ、進んで行動する。 ○憧れていた遊具や目新しい遊具に興味をもって十分に遊ぶ。 ○3、4歳児に関心をもち、思いやりの気持ちをもってかわる。 ○自分の思いを出したり相手の考えに気付いたりして、気の合う友達と一緒に遊ぶ。 ○戸外で十分に体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ○土の準備をしたり、苗を植えたりして夏野菜に興味や関心をもつ。 ○自然に触れ、それらを取り入れて遊ぶ。 ○食事のマナーを守りながら、友達と楽しく食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージを伝えたり、相手の考えを受け入れたりして遊ぶ楽しさを味わう。 ○生活の中で起きた問題を友達と相談し、解決しようとする。 ○友達の得意なことに気付き、受け入れて遊ぶ楽しさを味わう。 ○自分のイメージを様々な物を使ったり動きを工夫したりして表現しようとする。 ○いろいろな遊びに挑戦し、やり遂げた満足感を味わう。 ○言葉や文字、数量、標識に興味をもつ。 ○植物の世話を通して、生長に期待をもち、収穫する喜びを味わう。 ○体と食べ物との関係を知り、進んで食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの考えを伝えたり受け入れたりして、共通の目的をもって遊ぶ楽しさを味わう。 ○話をよく聞いて気持ちを合わせようとしていたり、工夫したりして遊ぶ。 ○思いきり力を出して運動をしたり、表現の工夫をしたりして、最後まで取り組む。 ○イメージに合うものを選んだり、素材の特性を生かしたりして、表現することを楽しむ。 ○言葉や文字、数量などを取り入れて遊ぶ。 ○秋の自然に関わり、美しさを感じたり、遊びに取り入れれたり、収穫を喜んだりする。 ○行事等を通して、いろいろな人々に親しみをもつ。 ○健康に関心をもち、食事をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と目的に向かって相談したり、工夫したりして力を合わせて遊ぶ。 ○目的に向かって自分の力を出して取り組む。 ○イメージを膨らませ、言葉や動きなどを工夫して楽しむ。 ○言葉や文字、数量などを使って遊ぶ楽しさを感ずる。 ○季節の変化に気付き、試したり調べたりする。 ○行事を楽しむ中で、年末年始の生活について関心をもつ。 ○食事のマナーや清潔にすることの大切さが分かり、考えて行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通の目的に向かって、友達と力を合わせ、励まし合って最後までやり遂げる。 ○それぞれの考えを出し合いながら、自分たちで生活を進めていく。 ○ストーリーやイメージを膨らませ、それぞれに合った言葉や動き、場などを工夫し合って楽しむ。 ○目的をもって取り組み、やり遂げた満足感を味わう。 ○小学校への期待をもって生活をする。 ○身近な人々に感謝の気持ちを表そうとする。 ○季節の移り変わりを感じたり、春の訪れを喜んだりする。 ○感謝の気持ちをもって楽しく食べる。